

武蔵野市民科カリキュラム作成委員会（第3回）

■日時：平成29年12月27日（水）午前10時～正午

■場所：市役所教育委員会室

次 第

1 開会

2 議事

- (1) 武蔵野市民科の目標について
- (2) 武蔵野市民科に関連する取組事例について
- (3) 武蔵野市民科で育む資質・能力について

3 その他

- ・次回以降日程

第4回 2月20日（火）15:00～16:45 市役所東棟3階301会議室

第5回 3月14日（水）15:00～16:45 市役所南棟4階教育委員会室

4 閉会

配布資料

- ・事務局説明資料
- ・武蔵野市民科で取り上げる課題例（たたき台）

参考資料

- ・第五中学校「武蔵野市改造計画一ズバリ市長に提言！」関連資料
- ・社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会（市民社協）関連資料

武蔵野市民科カリキュラム 作成委員会（第3回） 事務局説明資料

平成29年12月27日（水）

1. 2回の議論から捉える武蔵野市民科の必要性

複雑で予測困難な時代

グローバル化、社会構造の変化、生産人口の減少、地域のつながりの希薄化…など

武蔵野市のよさ

地域の高い教育力、高い市民意識、市政への市民参加…など

子どもの実態と目指す姿

地域・社会とのつながりに気づき、子どもたちの社会参画意識を更に醸成

「市民性を育む教育」を武蔵野市立小・中各学校の
カリキュラム・マネジメントの中核へ

「武蔵野市民科」

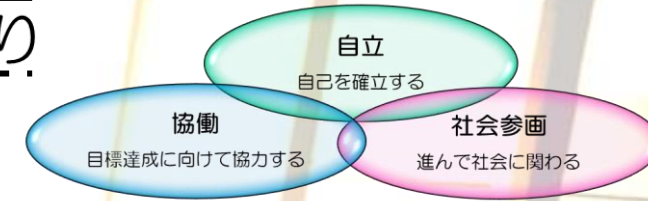
学校ごとの特色ある
市民科の取組を発信

市民科を通して保護者の
地域参画も促す

2. 武蔵野市民科の目標（前回の議論の内容）

社会の変化や課題に対し、他者と協働し、主体的に取り組むことを
とおして、よりよい地域、社会づくりに参画し、幸福な人生の創り
手となるための資質・能力（市民性）を育てる。

<市民性を構成するキーワード>



～学習過程の部分～

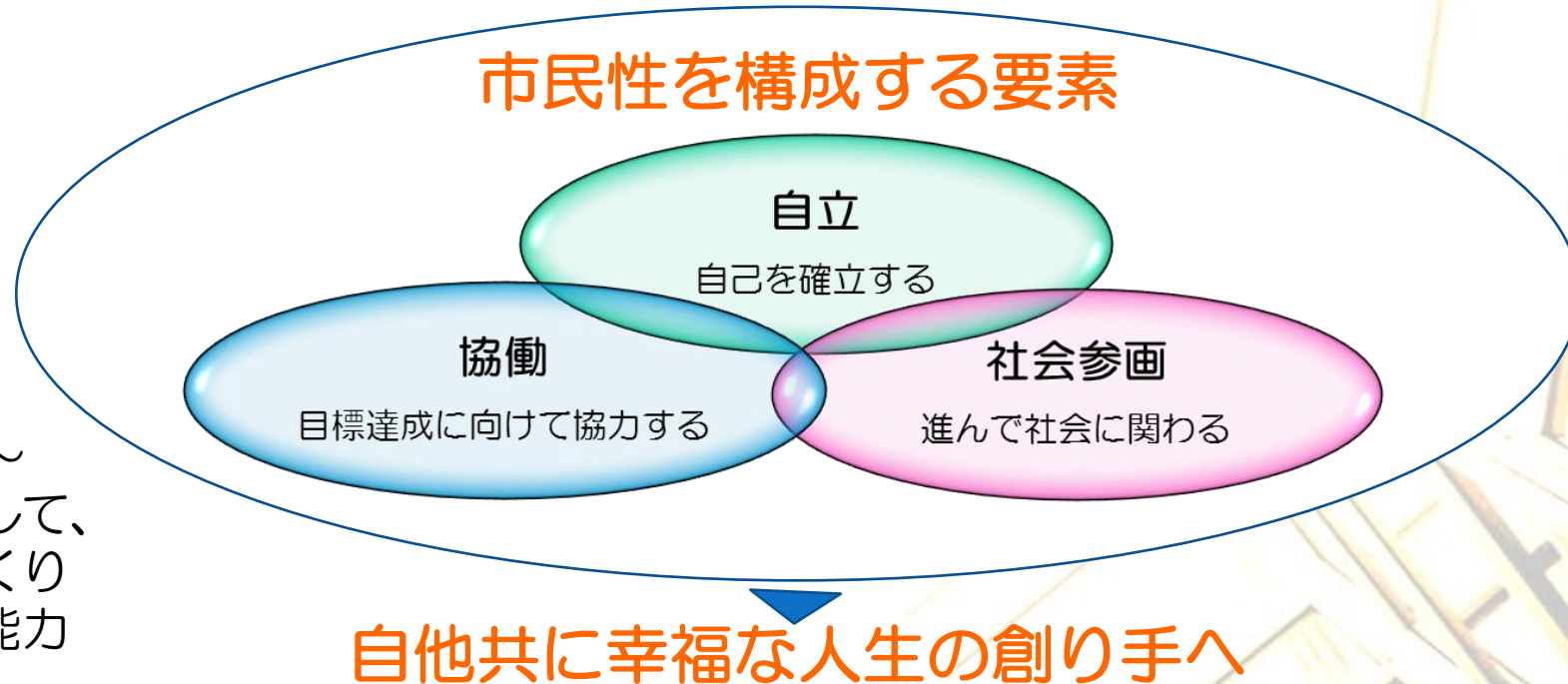
- ①社会の変化に対して取り組むというのは言葉として違和感がある。
- ②市民科では、社会変化や新しく出てくる社会課題だけでなく、人間として普遍的な課題も取り上げるべきではないか。そう考えると冒頭を「社会」という言葉でくくるのがよいのか。
- ③社会の変化や課題に最初から絞るのではなく、子どもが自分で課題を見つけたり、考えたりする中で、社会の変化や課題に気付くこともある。
- ④課題に対して取り組むだけでよいのか。解決まで求めるか。考えるきっかけをもてばよいのか。

～育成を目指す資質・能力の部分～

- ①「幸福な人生の創り手」というのは、自分のことのみを表すのか、社会全体と捉えるのか。
- ②「協働」と「社会参画」は言葉として入っているが、「自立」は「主体的」や「幸福な人生の創り手」という中に包含してよいのか。（第2回で出てきた意見...幸福は自分でつかみ取るもので、自己を見つめ、みんなの役に立つことが幸福である、他者の中に自分の居場所があることを感じる事ができるのが幸福ではないか）

2. 武蔵野市民科の目標（第2案）

自己・学校・地域・社会の中から課題などを見つけ、解決しようとする取り組みをとお
市民科で学習していく範囲 子どもの気づきを基にした学習過程
して、自他共に幸福な人生の創り手となるために必要な「自己の確立」「他者との協
市民科が目指す最終的な目標 市民性を構成する要素
の協働」「進んで社会に関わろう」とする資質・能力（市民性）を育てる。



～第1回事務局
説明資料より～
市民性＝社会の一員として、
よりよい地域、社会づくり
に参画していく資質・能力

- 【議論①】 市民科で、どのような課題を取り上げていくべきか。（子どもに考えさせていきたい課題とは？）
【議論②】 「自他共に幸福な人生の創り手」を市民科の最終目標と設定していくかどうか。

3. 武蔵野市民科で育みたい資質・能力 (前回の議論を基にした修正)

	自立 (自己を確立する)	協働 (目標達成に向けて協力する)	社会参画 (進んで社会に関わる)
主に「生きて働く知識・技能」の習得に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解、自己管理能力 	<ul style="list-style-type: none"> 他者理解、人間関係形成能力 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会的課題などへの理解
主に「思考力・判断力・表現力等」の育成に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力 クリティカル・シンキング (批判的思考) 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の達成に向け、他者と協力する力 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力
主に「学びに向かう力や人間性等」の涵養に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識、責任感 自尊感情 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活を協力して築こうとする態度 自己有用感 	<ul style="list-style-type: none"> 公共心や、社会連帯の自覚

【議論③】各学年で「自立」「協働」「社会参画」の3つの項目を、発達段階に合わせてバランスよく育成していくのか、学年により重点項目を設定していくのか。(実施学年はどうするか)

【議論④】市民科として求められる資質・能力として必要なものはこれ以外に何かあるか。

武蔵野市民科で取り上げる課題例(たたき台)

5年		
総合的な学習の時間	道徳	特別活動
情報社会を生き抜く力を身に付けよう		
1 学期 ○情報活用能力(自立) 情報化社会における可能性と危険性の両面を調べることをとおして、これからどのように自分が情報や情報機器と関わっていくべきか考えることができるようにする。	○自己理解、自己管理能力(自立) 「A 節度、節制」 情報機器は使い方によっては危険やトラブルを招くことがあることを知り、よりよい使用方法について考えることができる。	○自己理解、自己管理能力(自立) ○社会的課題への理解(社会参画) 「学級活動(2)ーア 基本的な生活習慣の形成」 セーフティ教室で情報通信会社等を活用し、情報化社会における情報や情報機器との適切な関わり方について考え、自身の生活を見直す態度を育てる。
協力してセカンドスクールを成功させよう I		
2 学期 ○情報活用能力(自立) ○クリティカルシンキング(自立) セカンドスクール訪問先の自然・文化・生活・歴史などの特徴について興味をもち、図書資料やインターネットなどを使い、武蔵野市と比較しながら調べる。	○他者理解、人間関係形成能力(協働) 「B 友情、信頼」 互いに信頼し合い、学び合って友情を深め、協力して助け合おうとする心情を育てる。 「C 勤労、公共の精神」 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わう。	○他者理解、人間関係形成能力(協働) ○よりよい生活を協力して築こうとする態度(協働) 「学級活動(3)ーイ 社会参画意識の醸成や働くことの意味の理解」 セカンドスクールに向けて、共同生活を行う上で大切なことや目標についての話し合うとともに、係活動等に主体的に取り組む態度を育てる。
自分たちができることを考えよう I		
3 学期 ○情報活用能力(自立) ○よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力(社会参画) 地域におけるボランティア活動について調査し、社会生活は様々な人々によって支えられていることに気づき、自分自身がボランティア活動にどのように関わっていくか考えようとする。	○自尊感情(自立) 「A 個性の伸長」 自分の特徴を多面的・多角的に捉え、自身の長所と短所の両面を考えることをとおして、自分自身を伸ばそうとする姿勢を育む。	○よりよい生活を協力して築こうとする態度(協働) ○公共心や、社会連帯の自覚 「学校行事 勤労生産・奉仕の行事」 地域清掃活動を通して、公共のために役立つことへの関心や他者への奉仕に積極的に取り組もうとする態度を育てる。

6年		
総合的な学習の時間	道徳	特別活動
協力して日光移動教室を成功させよう		
1 学期 ○情報活用能力(自立) ○目標の達成に向け、他者と協力する力(協働) 日光移動教室訪問先の自然・文化・歴史などの特徴について興味をもち、図書資料やインターネットなどを使い、友達と協力して調べる。	○他者理解、人間関係形成能力(協働) 「B 友情、信頼」 互いに信頼し合い、友情を深めていこうとする態度を育てる。	○目標の達成に向け、他者と協力する力(協働) ○よりよい生活を協力して築こうとする態度(協働) 「学級活動(3)ーイ 社会参画意識の醸成や働くことの意味の理解」 日光移動教室に向けて、共同生活を行う上で大切なことや目標についての話し合うとともに、係活動など自分の役割を果たすよう、行動する。
共に生きよう		
2 学期 ○他者理解、人間関係形成能力(協働) ○情報活用能力(自立) ブラインドサッカー、車いすテニスの体験や交流をするとともに、パラリンピックについて、調べてみたいことや疑問に思うことを調べ、まとめる。	○自尊感情(自立) ○他者理解(協働) 「D 生命の尊さ」 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする態度を養う。	○他者理解、人間関係形成能力(協働) ○よりよい生活を協力して築こうとする態度(協働) 「学級活動(2)ーイ よりよい人間関係の形成」 男女仲良く、互いの持ち味を生かしながら集団生活をしていくことの大切さに気づき、行動する。
生き方について考えよう I		
3 学期 ○地域や社会的課題などへの理解(社会参画) ○よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力(社会参画) 地域で働く人をゲストティーチャーとして招き、話を聞くことを通して、働く人の思いや願いを知るとともに、社会の中で自分がどのように関わっていかたいかを考える。	○自己理解、自己管理能力(自立) 「A 希望と勇気、努力と強い意志」 自分の夢や目標に向かって、より高い目標を立て、希望と勇気を持ち続け、くじけないで努力していこうとする意欲を育てる。	○自己理解、自己管理能力(自立) 「学級活動(3)ーア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」 小学校生活を振り返り、中学校生活に向けた希望や目標を考え、実践する。

中 I		
総合的な学習の時間	道徳	特別活動
協力してセカンドスクールを成功させよう II		
1 学期 ○クリティカルシンキング(自立) ○よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力(社会参画) セカンドスクール実施地について調べることを通して、武蔵野市との類似点や差異点から課題を見だし、該当地の課題を解決する方法や武蔵野市の魅力について考える。	○他者理解、人間関係形成能力(協働) 「B 思いやり、感謝」 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それに応える。	○規範意識、責任感(自立) ○目標の達成に向け、他者と協力する力(協働) 「学級活動(3)ーイ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」 社会生活上のルールの意味について考え、必要なマナーやスキルについて体験的に習得する。
自分たちができることを考えよう II		
2 学期 ○地域や社会的課題などへの理解(社会参画) ○よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力(社会参画) 武蔵野市や地域の取組(文化活動、環境、福祉、安全)について、インタビューするなどして調べ、課題を見付けるとともに、地域のために何ができるのかを考える。	○公共心、社会連帯への自覚(社会参画) 「C 社会参画、公共の精神」 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	○よりよい生活を協力して築こうとする態度(協働) ○自己有用感(協働) 「生徒会活動(3) ボランティア活動などの社会参画」 総合的な学習の時間、道徳で学んだことを生かし、生徒会を中心としたボランティア活動である「全生徒による地域清掃」に積極的に関わっていく。
生き方について考えよう II		
3 学期 ○自己理解、自己管理能力(自立) ○情報活用能力(自立) 職場体験にむけて、職業人へのインタビューなどを行うとともに、自分がどのような職に向いているか考え、興味がある職業を調べ、まとめる。	○よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力(社会参画) 「C 勤労」 勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする実践意欲を培う。	○自己理解(自立) ○自己有用感(協働) 「学級活動(3)ーイ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」 自分の生きがいや、社会に自分がどうに関わっていくか、自分ができることから行動する。